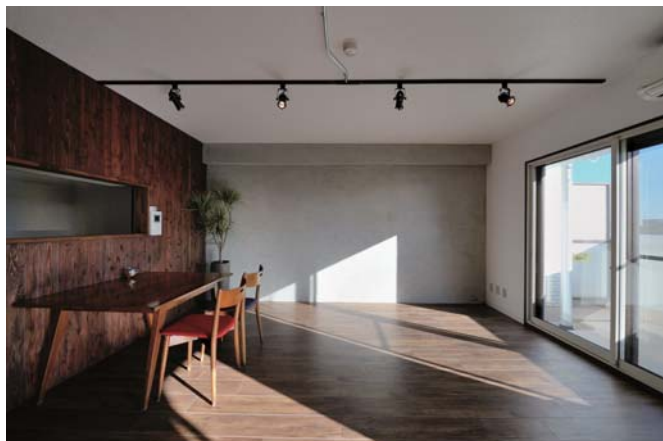




既存間仕切りを取り払い、広い一体の空間としたLDK・小上り・寝室  
造作家具でゆるやかに各スペースを仕切る。



既存の壁紙を剥がし、表しとしたモルタルの壁。  
木とモルタルの異素材のコントラストが空間にアクセントを加える。

## ■特集 "R-apartment Renovation"

### >> 気持ちのスイッチを入れる。

皆様こんにちは。小野です！  
今回は、今週の特集「R-apartment Renovation」でも取り入れた『トグルスイッチ』の紹介です。工業的デザインの照明用スイッチプレートで、鈍く光るアルミの質感が独特の存在感を放ちます。トグル(toggle)とは、同一の操作で2つの状態(ON/OFF)を交互に切り換えること。照明と共に気持ちまでスイッチが入るような、指と空間にパチッと響く、確かな手応えが心地よいスイッチです。露出の配線用銅管やスイッチボックスとも相性抜群です。内覧会にご来場頂いたお客様にも大好評なトグルスイッチでした。



### >> 山崎担当

こんにちは、山崎です。以前もお伝えしましたが、弊社で設計した「旭南ハイツ Renovation」が「秋田住宅コンクール」において「秋田県建築士事務所協会会長賞(優秀賞・専門部門最優秀賞)」に選出されました。表彰式当日は、学生部門、専門部門それぞれの分野で受賞された方々の表彰式、受賞者によるプレゼンテーションが行われました。会場ではそれぞれの受賞された方々の展示パネルも見る事ができたのですが、設計者の想いや試行錯誤した点など実際にお話を聞くことができたのは大きな収穫でした。改めましてこのような場面に立ち会えたことを嬉しく思います。関係各位の皆様ありがとうございました。

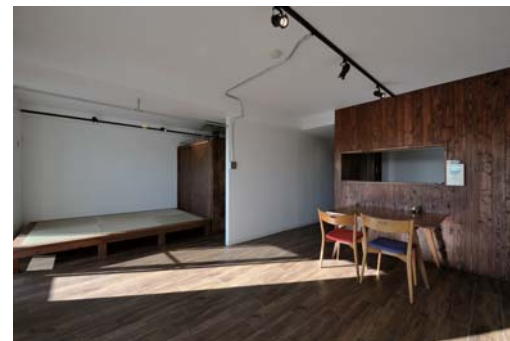


### >> 編集後記

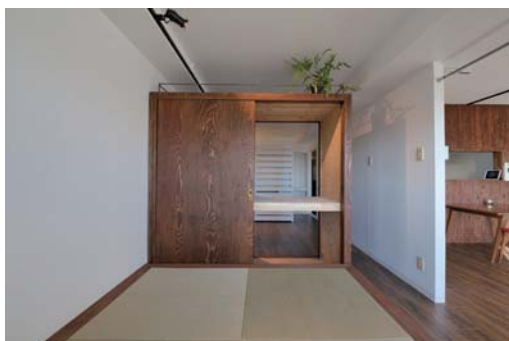
みなさん、こんにちは。早いもので、あと3週間あまりで年末を迎える時期になりました。1年1年、あっという間に過ぎてしまいます。秋田市は少し雪が積もり、何日か雪マークが続くようです。本格的な冬の到来です。  
さて、皆様にとりまして今年はどうの1年でしたでしょうか？私とは言いますと、仕事のにはやはりリノベーションに関わる機会が多くなったな、という印象です。本号も含め、ニュースレターでも何度も取り上げましたし、さらに年内に2物件が完成します。今後その傾向はますます強くなると思いますので、この分野の研鑽は本当に重要になります。一方私生活では娘が帰郷し、数年振りに家族全員が揃いました。来年、息子は進学のため家を離れる事が決定しますので、フルメンバーとしては最後の1年になる可能性が高いです。狭いとか、うるさいとか、生活時間が合わないとか、文句を言いつつ、これが幸せな日々か…などと思ったりしています。来年の目標は… とりあえず交通違反をしない事でしょうかね。最後までお読みいただきましてありがとうございました。さて、来る2016年も皆様にとりましてよいお年でありますように。それでは次回もどうぞお楽しみに。



メタルな素材使いで統一した、トグルスイッチ・配線用の露出銅管・ガス管の物干しバー。鈍く光る材質が、他にはない独特な存在感を放つ。



琉球畳の小上り。床下は収納としても利用できる。中央の物干しバーにカーテンを付ければ、リビング側のパブリックと寝室側のプライベートスペースを緩やかに仕切ることも可能。



小上りと寝室の間仕切りも兼ね、両側から使用できる収納。高さをおさえることにより解放感を生み出した。



寝室からWICを見る。板張りの収納家具は、入居者に合わせて寝室と収納スペースの調整ができるように可動式とした。

秋田市の官庁街に建つ、築25年ほどのRC造マンションのインテリア・リノベーション事例です。すぐ隣に新築マンションが建つことを受けて、築年数の経過した本マンションに、リノベーションにより新たな魅力を付加するプロジェクトでした。和室2室の3LDKの間取りを、LDK+プライベートゾーンの2スペースにゾーニングし、回遊性があり、かつクローズし過ぎないプライベート空間を生み出しています。各造作家具は簡単な造りとしながら、実用的でデザイン性に富んだものとしています。賃貸マンション故に工事内容や改修予算も限られる条件の中、ローコストの素材を効果的に使いながら既成の新築マンションでは得られない、魅力ある空間になったと思います。

### お知らせ



秋田県住宅省エネルギー技術者講習会を担当します。

国土交通省では、住宅の省エネルギー化を推進するための体制を強化する事業として、木造住宅・木造建築物の性能及び生産性向上等のため「住宅省エネ化推進体制強化事業」を推進しています。本講習は、木造戸建住宅を対象に、省エネルギー住宅の設計計画、及び設計性能を実現するための施工技術の重要性についての講習を行うとともに、省エネ性能の評価方法として改正省エネ基準に基づく計算方法の解説と演習を行います。

平成28年12月20日(火)  
秋田テルサ5階 第一会議室

お申し込みはこちらから <http://www.shoene.org/>



ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
仙台オフィス  
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932  
秋田オフィス  
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316  
HP: <http://www.issei-design.com/>  
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>  
Mail: [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)



NHK 仙台放送局の工事現場。既存の局舎はあまり大きくは見えないのですが、こちらは見るからに大きいです。平成29年度中には運用開始予定とのこと。仙台の新しい風景になりますね。